

押寄をば五形と城とをく對面有邊
其所者及城と入る城城を果極名
ふらも入る所ちもの者大内とを中一
所絶あらけ所時を付るをくくく又南
よりありありとふ休無を主路より通
ちる所と通し城より五丁南極字
川とふ川あり又赤川大川やとみま
でい流る極あともさる中一の事とわ

沙とぐ板とくくめとくさるるを
果お順のたれ中とと恒絶とりつ
者たれ一ハ所絶絶百延年ある二年小
分と休と云ふよりあるとくくくく
城より付るゆらと六城の雲と困とたお
ハ絶絶絶門と困と切と出ん其内内をく
ちる中絶とゆらとくくくくく内外より
改絶と二所たかるとくくくくくを